

2025年度 第1四半期決算報告



2025年7月30日
日本ゼオン株式会社

※以降、シクロオレフィンポリマーはCOPと記載します。

P.2	総括	
P.4	トピックス	
P.7	事業環境（為替・主原料推移）	
P.8	業績サマリー	
P.11	高機能材料	P/L
P.12	高機能材料	セグメント別概況
P.13	高機能樹脂事業	: COPの状況
P.14	高機能樹脂事業	: 光学フィルムの状況
P.15	高機能バインダー材料事業	: 電池材料の状況
P.16	高機能ケミカル事業	: 化学品・電子材料の状況
P.18	エラストマー素材	P/L
P.19	エラストマー素材	セグメント別概況
P.20	エラストマー素材	: 合成ゴムの状況
P.22	B/S概要	
P.23	C/F概要	
P.25	2025年度	業績予想修正のポイントと来期への影響
P.26	2025年度	事業環境動向
P.28	2025年度	業績予想
P.30	2025年度	株主還元予想

2025年度Q1連結実績

売上高
1,031億円
QoQ▲2%

営業利益
121億円
QoQ+136%

経常利益
120億円
QoQ+111%

親会社株主に帰属
する当期純利益
75億円
QoQ+24%

増減の主要因

売上高：水島工場定期検査による出荷調整を実施し、化成品および化学品の出荷量が減少

COP、電池材料は需要堅調となるも海外関連会社連結期ズレが影響(中国春節等による調整期1-3月を連結)

営業利益：合成ゴム、COP、光学フィルム、電池材料の出荷量が増加、生産増により製造固定費単価が良化、本社費発生減

経常利益：同上、ただし円高による為替差損が発生

当期純利益：同上

2025年度上期連結業績予想 修正

売上高
2,100億円
YoY▲2%

営業利益
190億円
YoY+13%

経常利益
180億円
YoY▲3%

親会社株主に帰属
する当期純利益
195億円
YoY+59%

増減の主要因

売上高：光学フィルム、電池材料等の出荷量増を見込むも、為替円高による外貨換算額の減少およびエラストマー素材で

原料価格下落による販売価格下落を見込む

営業利益：光学フィルム、電池材料等の出荷量増を見込む

経常利益：円高による為替差損の発生を見込む

当期純利益：投資有価証券売却益の増加および徳山工場の減損損失の減少を見込む

2025年度通期連結業績予想 修正

売上高
4,150億円
YoY▲1%

営業利益
305億円
YoY+4%

経常利益
300億円
YoY▲9%

親会社株主に帰属
する当期純利益
280億円
YoY+7%

増減の主要因

売上高：光学フィルム、電池材料等の出荷量増を見込むも、為替円高による外貨換算額の減少、およびエラストマー素材で原料価格下落による販売価格下落を見込む

営業利益：光学フィルム、電池材料等の出荷量増、および水島工場1系列の不具合解消による損失減を見込む

経常利益：円高による為替差損の発生を見込む

当期純利益：投資有価証券売却益の増加および徳山工場の減損損失の減少を見込む

為替、主原料価格前提

US\$：24上期 ¥153.9、24年度 ¥152.8 ⇒ 25Q1 ¥145.3、25Q2-Q4 ¥145、25年度 ¥145.1

国産ナフサ(JPY/KL)：24上期 ¥77,950、24年度 ¥75,625 ⇒ 25Q1 ¥65,800、25Q2-Q4 ¥63,000、25年度 ¥63,700

アジアブタジエン(US\$/MT)：24上期 \$1,505、24年度 \$1,429 ⇒ 25Q1 \$1,103、25Q2-Q4 \$1,100、25年度 \$1,100

2025年度株主還元

配当額
72円/年

自己株式の取得
2025年度
1,000万株/**100**億円

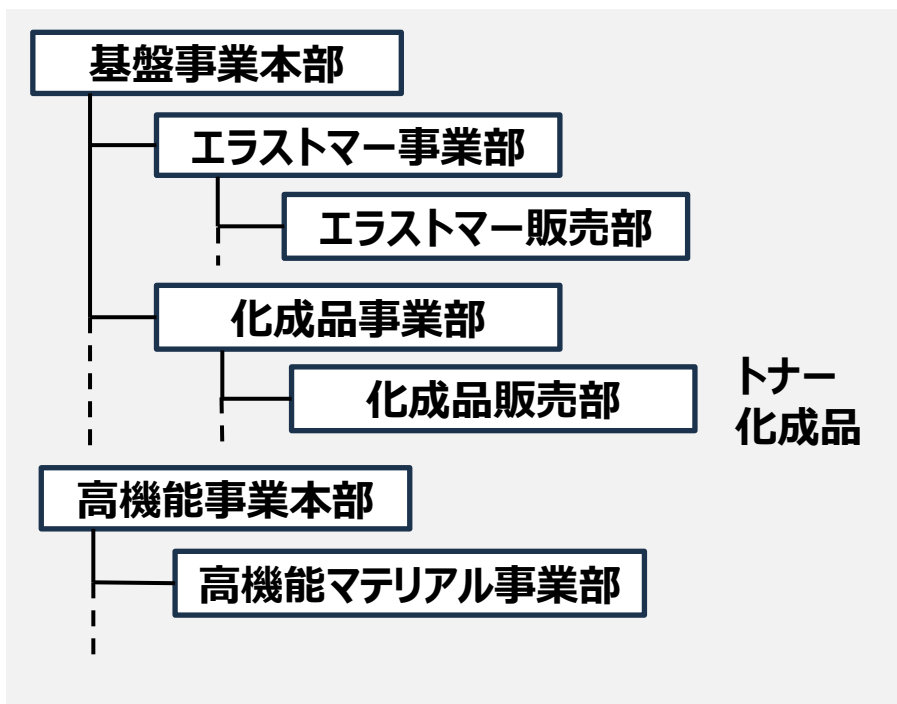
配当金は年間72円を据え置く

自己株式の取得は1,000万株/100億円を上限に実施中

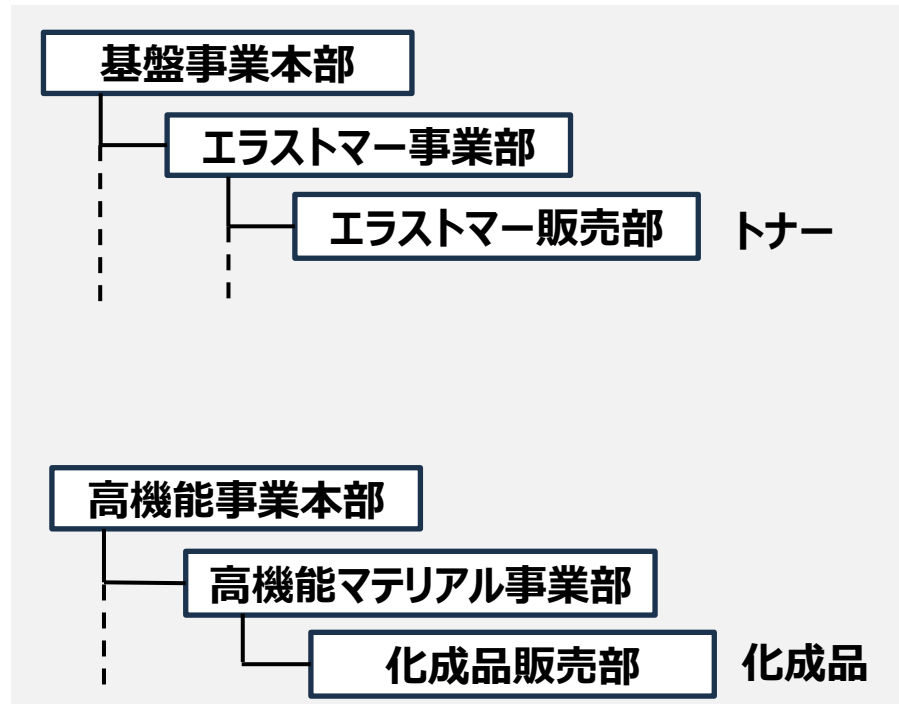
① 組織変更（2025年6月27日付）

- 化成品事業は高機能事業本部高機能マテリアル事業部管下へ変更し、化成品事業部管下のトナー事業はエラストマー販売部へ包含しました。
- C5事業を統合した組織体制とし、経営の意思決定と執行における実行スピードの向上とC5事業全体の利益最大化を図ります。
- 開示セグメントについては、従来区分を据え置きます。

【変更前】



【変更後（2025年6月27日付）】

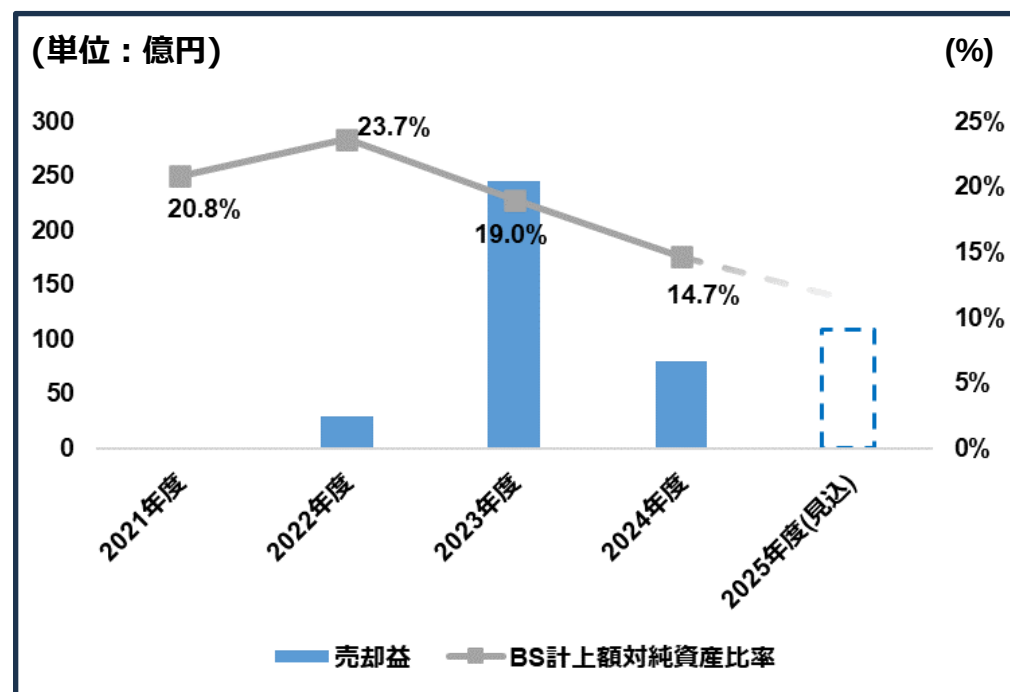


② 財務戦略

- 本日開催の取締役会において、当社が保有する投資有価証券の一部を売却することを決議しました。
- 2025年7月30日付の業績予想修正には、投資有価証券売却益を織り込んでおります。

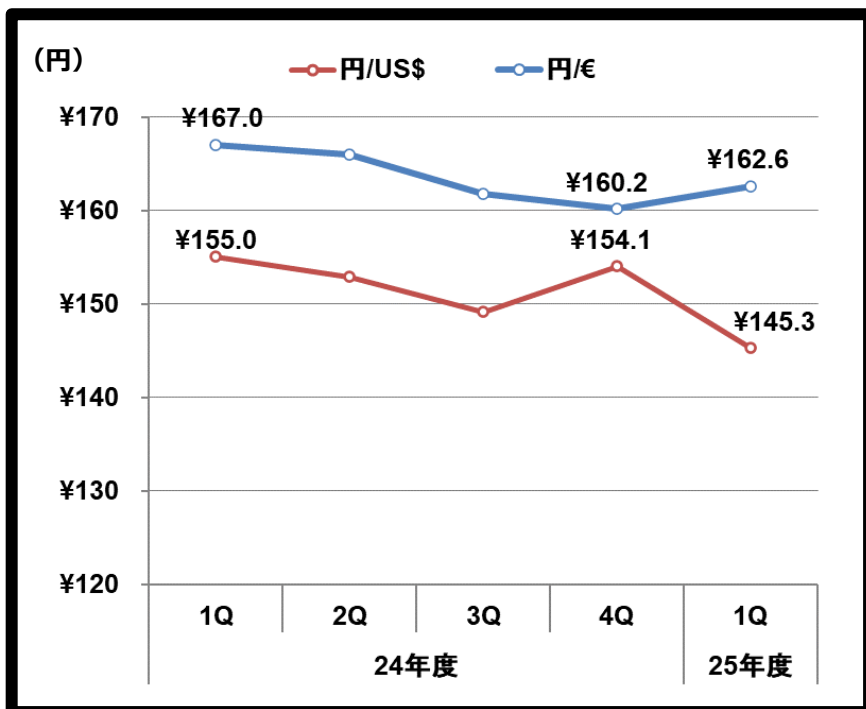
- 理由
事業戦略推進における資本効率向上のための投資資金再配分によるもの
- 投資有価証券売却益（見込み）
約109億円
- 売却の時期
2025年8月から2026年3月
- 政策保有株式純資産比率
（2025年度末見込み）
11-12%程度

【政策保有株式 売却益および比率の推移】

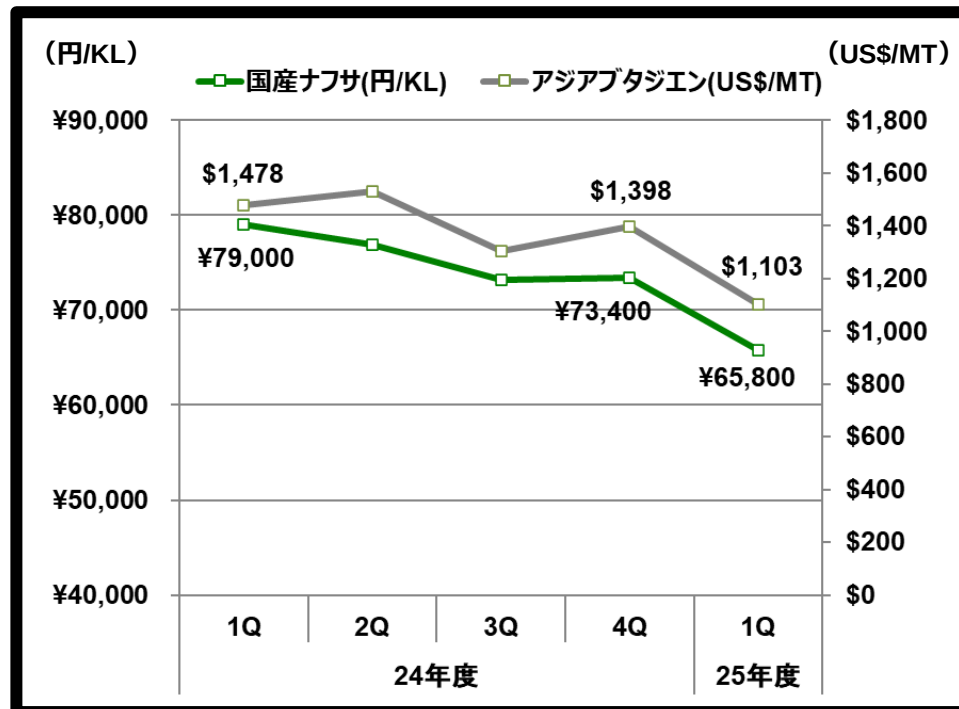


P.2	総括	
P.4	トピックス	
P.7	事業環境（為替・主原料推移）	
P.8	業績サマリー	
P.11	高機能材料	P/L
P.12	高機能材料	セグメント別概況
P.13	高機能樹脂事業	: COPの状況
P.14	高機能樹脂事業	: 光学フィルムの状況
P.15	高機能バインダー材料事業	: 電池材料の状況
P.16	高機能ケミカル事業	: 化学品・電子材料の状況
P.18	エラストマー素材	P/L
P.19	エラストマー素材	セグメント別概況
P.20	エラストマー素材	: 合成ゴムの状況
P.22	B/S概要	
P.23	C/F概要	
P.25	2025年度	業績予想修正のポイントと来期への影響
P.26	2025年度	事業環境動向
P.28	2025年度	業績予想
P.30	2025年度	株主還元予想

【為替推移】



【主原料推移】



		2024年度 Q1	2024年度 Q4	2025年度 Q1	YoY 変化率	QoQ 変化率
為替	円/US\$	¥155.0	¥154.1	¥145.3	▲ 6%	▲ 6%
	円/€	¥167.0	¥160.2	¥162.6	▲ 3%	+1%
主原料	国産ナフサ/KL	¥79,000	¥73,400	¥65,800	▲ 17%	▲ 10%
	アジア ブタジエン/MT	\$1,478	\$1,398	\$1,103	▲ 25%	▲ 21%

※国産ナフサ：2024年度Q1 及び 2024年度Q4 は確報値、2025年度Q1 は当社見込値

（単位：億円）

	前年同期	前期	今期	対前年同期	対前期
	2024年度 Q1	2024年度 Q4	2025年度 Q1	YoY 増減	QoQ 増減
売上高	1,061	1,052	1,031	▲ 30	▲ 21
営業利益	90	51	121	+31	+70
経常利益	122	57	120	▲ 3	+63
当期純利益	82	61	75	▲ 7	+14

- 前年同期比 : 売上高 ▲30億円、営業利益 +31億円
- 前期比 : 売上高 ▲21億円、営業利益 +70億円

※海外関係会社の2025年1～3月実績がQ1連結決算に反映されています。
2025年度より Zeon Korea Co., Ltd. が連結対象となりました。

（単位：億円）

【売上高】	前年同期	前期	今期	対前年同期	対前期
	2024年度 Q1	2024年度 Q4	2025年度 Q1	YoY 増減	QoQ 増減
高機能材料	303	315	293	▲ 10	▲ 22
エラストマー素材	602	581	581	▲ 22	▲ 0
その他の事業、消去等	155	156	157	+2	+1
売上高合計	1,061	1,052	1,031	▲ 30	▲ 21

【営業利益】	前年同期	前期	今期	対前年同期	対前期
	2024年度 Q1	2024年度 Q4	2025年度 Q1	YoY 増減	QoQ 増減
高機能材料	53	31	74	+21	+43
エラストマー素材	38	20	42	+5	+23
その他の事業、消去等	▲ 0	1	5	+5	+4
営業利益合計	90	51	121	+31	+70

P.2	総括	
P.4	トピックス	
P.7	事業環境（為替・主原料推移）	
P.8	業績サマリー	
P.11	高機能材料	P/L
P.12	高機能材料	セグメント別概況
P.13	高機能樹脂事業	: COPの状況
P.14	高機能樹脂事業	: 光学フィルムの状況
P.15	高機能バインダー材料事業	: 電池材料の状況
P.16	高機能ケミカル事業	: 化学品・電子材料の状況
P.18	エラストマー素材	P/L
P.19	エラストマー素材	セグメント別概況
P.20	エラストマー素材	: 合成ゴムの状況
P.22	B/S概要	
P.23	C/F概要	
P.25	2025年度	業績予想修正のポイントと来期への影響
P.26	2025年度	事業環境動向
P.28	2025年度	業績予想
P.30	2025年度	株主還元予想

(単位：億円)

	2024年度 Q1	2024年度 Q4	2025年度 Q1	YoY 増減	YoY 増減率	QoQ 増減	QoQ 増減率
売上高	303	315	293	▲ 10	▲ 3 %	▲ 22	▲ 7 %
高機能樹脂	199	201	197	▲ 2	▲ 1 %	▲ 4	▲ 2 %
高機能バインダー材料	53	65	53	0	1 %	▲ 12	▲ 18 %
高機能ケミカル	41	40	33	▲ 8	▲ 20 %	▲ 7	▲ 17 %
メディカル他	10	10	10	0	0 %	0	3 %
営業利益	53	31	74	21	40 %	43	140 %
高機能樹脂	44	27	55	11	25 %	29	108 %
高機能バインダー材料	4	4	10	6	154 %	6	130 %
高機能ケミカル	5	2	8	3	53 %	6	390 %
メディカル他	▲ 0	▲ 2	1	1	- %	3	- %
営業利益率	17%	10%	25%				

サブセグメント区分

高機能樹脂	: COP、光学フィルム
高機能バインダー材料	: 電池材料、トナー
高機能ケミカル	: 化学品、電子材料

高機能材料

売上高 **293** 億円 (YoY▲3%、QoQ▲7%)

営業利益 **74** 億円 (YoY+40%、QoQ+140%)

高機能樹脂

売上高 **197** 億円 (YoY▲1%、QoQ▲2%)

営業利益 **55** 億円 (YoY+25%、QoQ+108%)

■ YoY

光学・半導体用途向けCOP、中小型フィルムの出荷減により減収
大型フィルム、医療その他向けCOPの出荷増、生産増により製造固定費単価が良化し増益

■ QoQ

COPの海外関連会社連結期ズレにより減収(中国春節等による調整期1-3月を連結)
光学用途・医療その他向けCOP、光学フィルムの出荷増、生産増により製造固定費単価が良化し増益

高機能 バインダー材料

売上高 **53** 億円 (YoY+1%、QoQ▲18%)

営業利益 **10** 億円 (YoY+154%、QoQ+130%)

■ YoY

電池材料の出荷増、生産増により固定費単価が良化し増収増益

■ QoQ

電池材料の海外関連会社連結期ズレにより減収(中国春節等による調整期1-3月を連結)
生産増により固定費単価が良化し増益

高機能ケミカル

売上高 **33** 億円 (YoY▲20%、QoQ▲17%)

営業利益 **8** 億円 (YoY+53%、QoQ+390%)

■ YoY、QoQ

合成香料市場の需給緩和の長期化および水島工場の定検検査に伴う出荷調整で減収
棚卸資産関連費用、販管費の減少等により増益

		YoY	QoQ
連結売上高			
当社製品の 販売動向 (4-6月)	光学用途向け		
	医療その他向け		
	半導体用途向け		

■ 光学用途向け

QoQは旧正月後の中国顧客向けを中心に出荷増となるも、市況は調整の兆し

■ 医療その他向け

出荷は総じて堅調、YoYで+19%の出荷増(単体ベース)

■ 半導体用途向け

Q1は調整期となるもQ2以降復調し、年間では前年度を上回る見込

		YoY	QoQ
連結売上高			
当社製品の 販売動向 (4-6月)	中小型向け		
	大型向け		

■ 中小型向け

タブレット向け、スマホ向けともに需要は堅調

24/4Qより新モデル生産が開始し、季節性の四半期出荷増減は緩和

■ 大型向け

大型TV向けシェア拡大により出荷は増加

パネルは生産調整が始まるも、顧客在庫水準調整のため堅調な出荷が継続

		YoY	QoQ
連結売上高			
当社製品の 販売動向 (4-6月)	EV向け		
	ESS・民生他向け		

■ EV向け

中国の補助金政策により需要は堅調、出荷は増加

欧州向けはEVの販売台数回復傾向も在庫調整が長期化

■ ESS・民生他向け

ESS・民生向けは補助金政策を背景に需要は堅調

ESSは米国向けの出荷が開始され増加

		YoY	QoQ
連結売上高			
当社製品の 販売動向 (4-6月)	半導体・医療向け		
	香料向け		

■ 半導体・医療向け

水島工場定期検査により出荷を調整

旺盛な AI 関連投資を背景にメモリーや一部ロジック製品の需要は堅調

■ 香料向け

水島工場定期検査により出荷を調整

合成香料市場の需給緩和状態は長期化、米国関税により拍車がかかる

P.2	総括	
P.4	トピックス	
P.7	事業環境（為替・主原料推移）	
P.8	業績サマリー	
P.11	高機能材料	P/L
P.12	高機能材料	セグメント別概況
P.13	高機能樹脂事業	：COPの状況
P.14	高機能樹脂事業	：光学フィルムの状況
P.15	高機能バインダー材料事業	：電池材料の状況
P.16	高機能ケミカル事業	：化学品・電子材料の状況
P.18	エラストマー素材	P/L
P.19	エラストマー素材	セグメント別概況
P.20	エラストマー素材	：合成ゴムの状況
P.22	B/S概要	
P.23	C/F概要	
P.25	2025年度	業績予想修正のポイントと来期への影響
P.26	2025年度	事業環境動向
P.28	2025年度	業績予想
P.30	2025年度	株主還元予想

(単位：億円)

	2024年度 Q1	2024年度 Q4	2025年度 Q1	YoY 増減	YoY 増減率	QoQ 増減	QoQ 増減率
出荷量 (24/Q1=100)	100	94	96	▲ 4 pt	▲ 4 %	2 pt	3 %
合成ゴム	100	93	95	▲ 5 pt	▲ 5 %	2 pt	2 %
ラテックス	100	80	93	▲ 7 pt	▲ 7 %	13 pt	17 %
化成品	100	107	104	4 pt	4 %	▲ 3 pt	▲ 2 %
売上高	602	581	581	▲ 22	▲ 4 %	▲ 0	▲ 0 %
合成ゴム	455	427	445	▲ 10	▲ 2 %	18	4 %
ラテックス	34	32	35	1	3 %	3	8 %
化成品	102	105	90	▲ 13	▲ 12 %	▲ 16	▲ 15 %
その他・消去	12	17	12	▲ 0	▲ 2 %	▲ 6	▲ 33 %
営業利益	38	20	42	5	12 %	23	115 %
営業利益率	6%	3%	7%				

エラストマー素材

売上高 **581** 億円 (YoY▲4%、QoQ▲0%)

営業利益 **42** 億円 (YoY+12%、QoQ+115%)

合成ゴム

売上高 **445** 億円 (YoY▲2%、QoQ+4%)

■ YoY

海外を中心とした需要の伸び悩み、シンガポール工場定期検査による出荷調整を実施
原料価格下落による販売価格下落、為替円高により減収減益

■ QoQ

原料価格下落による販売価格下落、為替円高の影響を受けるも、定期検査後の出荷増
および本社費の配賦減少等により増収増益

合成ラテックス

売上高 **35** 億円 (YoY+3%、QoQ+8%)

■ YoY、QoQ

原料価格下落による販売価格下落、為替円高の影響を受けるも、定期検査後の出荷増
および本社費の配賦減少等により増収増益

化成品

売上高 **90** 億円 (YoY▲12%、QoQ▲15%)

■ YoY、QoQ

水島工場定検検査による出荷調整で減収
為替円高の影響を受けるも、販売価格の改定および生産増により製造固定費単価が良化し増益

		YoY	QoQ
連結売上高		98%	104%
当社製品の 販売動向	特殊ゴム		
	汎用ゴム		

■ 特殊ゴム

海外を中心に需要に力強さはなく、YoYで出荷減

高岡工場定期検査による出荷調整が終わり、QoQで出荷増

■ 汎用ゴム

シンガポール工場の定期検査による出荷調整により、YoYで出荷減

徳山工場定期検査による出荷調整が終わり、QoQで出荷増

P.2	総括	
P.4	トピックス	
P.7	事業環境（為替・主原料推移）	
P.8	業績サマリー	
P.11	高機能材料	P/L
P.12	高機能材料	セグメント別概況
P.13	高機能樹脂事業	：COPの状況
P.14	高機能樹脂事業	：光学フィルムの状況
P.15	高機能バインダー材料事業	：電池材料の状況
P.16	高機能ケミカル事業	：化学品・電子材料の状況
P.18	エラストマー素材	P/L
P.19	エラストマー素材	セグメント別概況
P.20	エラストマー素材	：合成ゴムの状況
P.22	B/S概要	
P.23	C/F概要	
P.25	2025年度	業績予想修正のポイントと来期への影響
P.26	2025年度	事業環境動向
P.28	2025年度	業績予想
P.30	2025年度	株主還元予想

総資産5,049億円 (▲289)

【流動資産】 ▲298億円

- ◆ 現預金 +55億円
- ◆ 売掛債権 ▲142億円
- ◆ 未収入金 ▲101億円
- ◆ 棚卸資産 ▲147億円

流動資産
2,684
(▲298)

固定資産
2,365
(+8)

【固定資産】 +8億円

- ◆ 有形固定資産 +0億円
- ◆ 投資有価証券 +23億円

【流動負債】 ▲278億円

- ◆ 買入債務 ▲211億円
- ◆ コマーシャルペーパー +20億円

流動負債
1,243
(▲278)

固定負債 243 (+5)

純資産
3,563
(▲17)

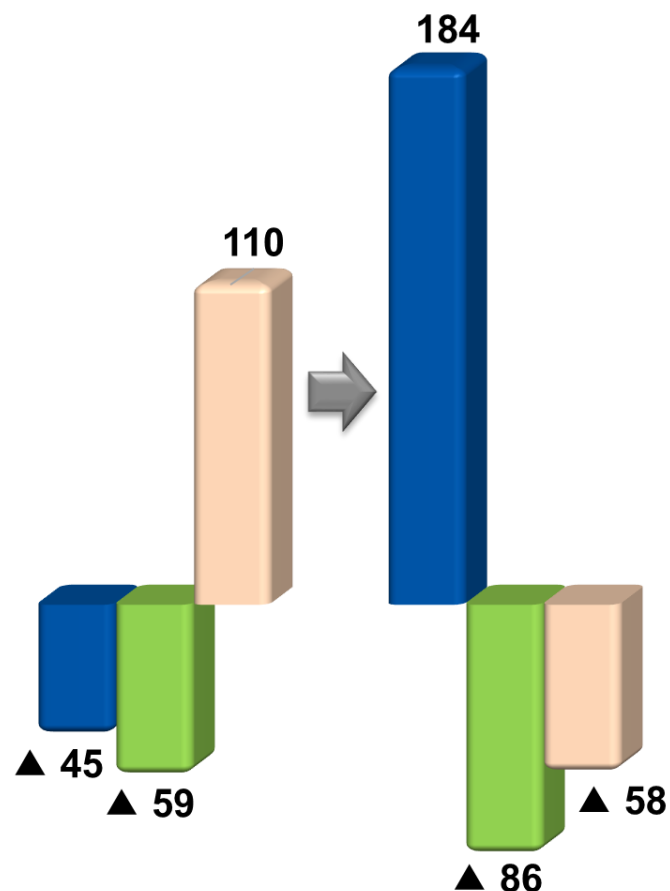
【純資産】 ▲17億円

- ◆ 自己資本比率 70.4% (+3.5)
- ◆ D/Eレシオ 0.08 (+0.01)

(単位：億円)

2024年度Q1

2025年度Q1



■ 営業CF ■ 投資CF ■ 財務CF

(単位：億円)

	2024年度Q1	2025年度Q1
営業CF	▲ 45	184
投資CF	▲ 59	▲ 86
フリーCF	▲ 104	98
財務CF	110	▲ 58
CF	6	40

【営業CF】	+229億円
◆ 税前利益	+1億円
◆ 税金	+46億円
◆ 減価償却費	▲ 5億円
◆ 運転資金	+264億円
◆ その他	▲ 77億円

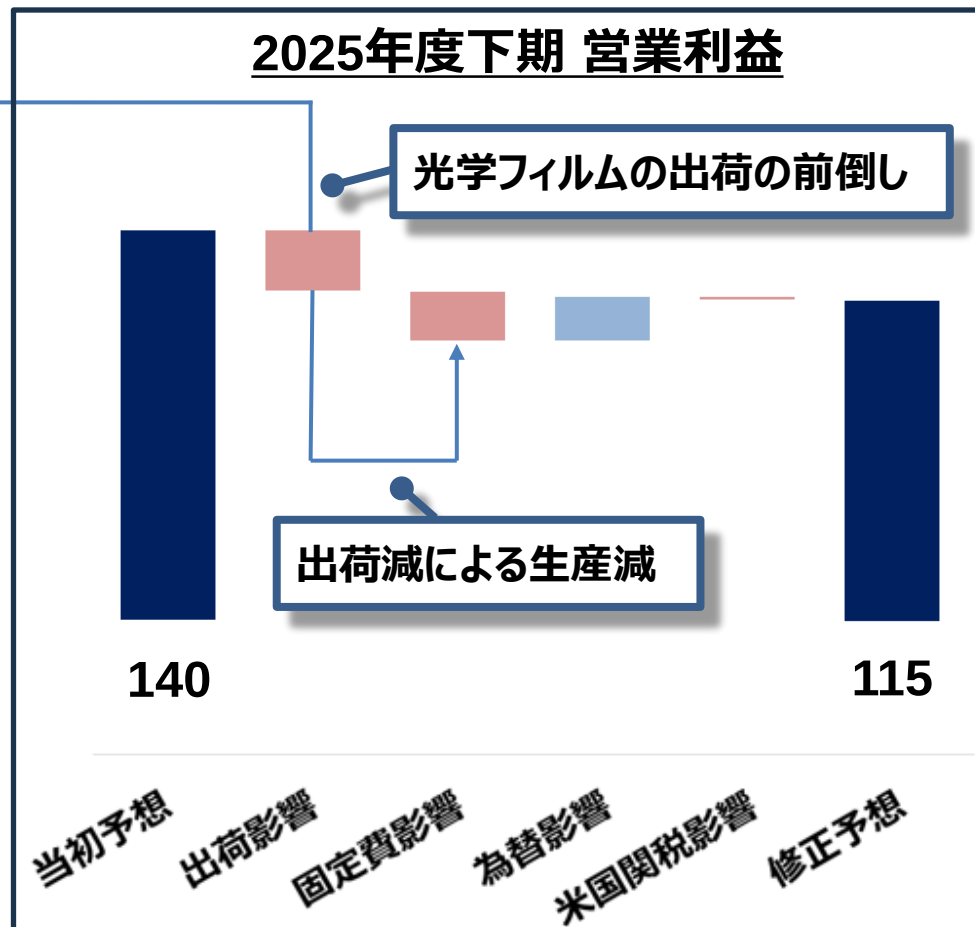
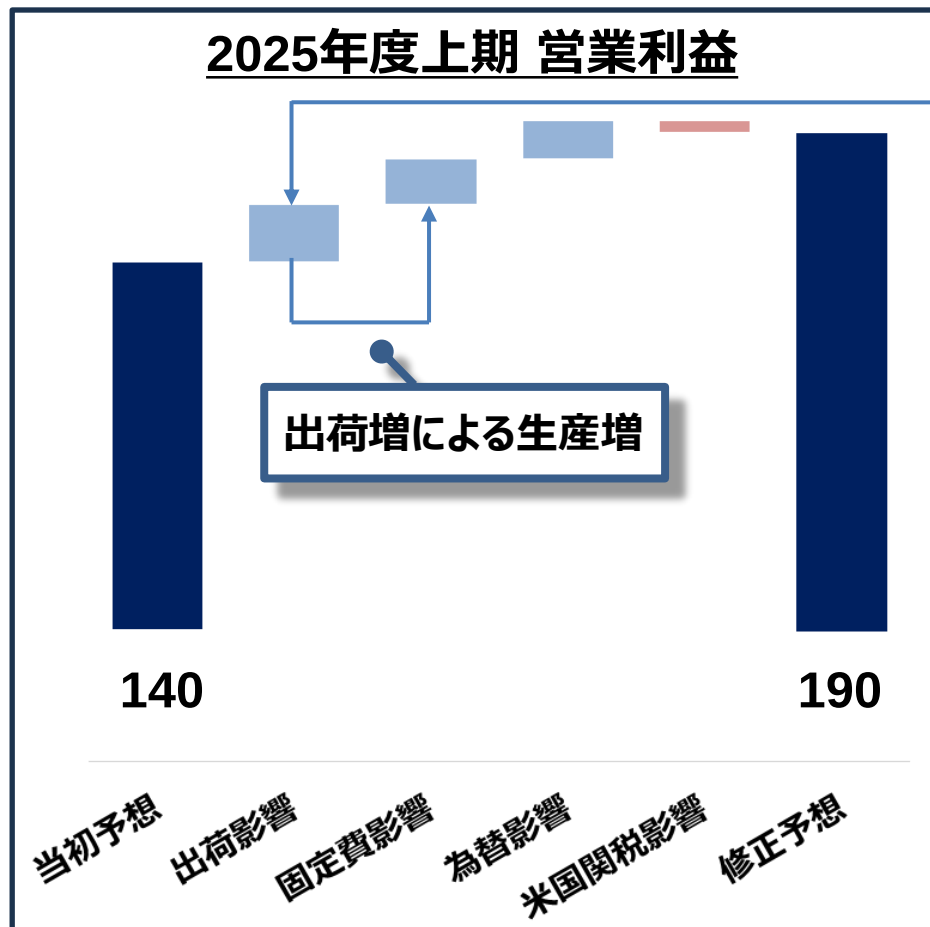
【財務CF】	▲ 168億円
◆ 資金調達	▲ 150億円
◆ 配当金	▲ 17億円
◆ 自己株式取得・消却	▲ 1億円
◆ その他	▲ 1億円

P.2	総括	
P.4	トピックス	
P.7	事業環境（為替・主原料推移）	
P.8	業績サマリー	
P.11	高機能材料	P/L
P.12	高機能材料	セグメント別概況
P.13	高機能樹脂事業	: COPの状況
P.14	高機能樹脂事業	: 光学フィルムの状況
P.15	高機能バインダー材料事業	: 電池材料の状況
P.16	高機能ケミカル事業	: 化学品・電子材料の状況
P.18	エラストマー素材	P/L
P.19	エラストマー素材	セグメント別概況
P.20	エラストマー素材	: 合成ゴムの状況
P.22	B/S概要	
P.23	C/F概要	
P.25	2025年度	業績予想修正のポイントと来期への影響
P.26	2025年度	事業環境動向
P.28	2025年度	業績予想
P.30	2025年度	株主還元予想

2025年度 業績予想修正のポイントと来期への影響

ZEON

(単位：億円)



※増減影響の幅はイメージ図

- 光学フィルム：米国関税影響により上期に出荷が集中、通期では前年度比で出荷増
下期出荷減は一過性の調整、実需は拡大しており来期は当年度比で出荷増の見込
- 合成ゴム：汎用輸出の市況見合いによる出荷減、来期は市況に応じて回復

	上期	下期	
高機能材料			主要因
高機能樹脂			光学フィルムは、上期需要が堅調、 下期パネル生産調整による出荷減および モバイル機器の季節性による出荷減を見込む COPは大きな状況変化なし、堅調
高機能バインダー材料			電池材料は、上期需要が堅調、 下期も需要は堅調の見込み
高機能ケミカル			化学品は、合成香料向けの需要が低調、 下期も継続して低調となる見込み 半導体向けは大きな状況変化なし、堅調

※上期、下期は、当初想定に対する7/30時点の当社見立て

	上期	下期	
エラストマー素材			主要因
合成ゴム			上期はHNBR、S-SBRの需要が堅調 下期は汎用輸出の市況見合いによる 出荷減を見込む
合成ラテックス			大きな状況変化はなし
化成品			大きな状況変化はなし

※上期、下期は、当初想定に対する7/30時点の当社見立て

2025年度 業績予想

ZEON

(単位：億円)

【売上高】	当初業績予想 (25/4/25時点)			修正業績予想 (25/7/30時点)			上期 差異	下期 差異	年間 差異
	上期	下期	年間	上期	下期	年間			
高機能材料	575	580	1,155	625	575	1,200	+50	▲ 5	+45
エラストマー素材	1,150	1,160	2,310	1,150	1,140	2,290	0	▲ 20	▲ 20
その他の事業、消去等	310	320	630	325	335	660	+15	+15	+30
売上高合計	2,035	2,060	4,095	2,100	2,050	4,150	+65	▲ 10	+55

【営業利益】	当初業績予想 (25/4/25時点)			修正業績予想 (25/7/30時点)			上期 差異	下期 差異	年間 差異
	上期	下期	年間	上期	下期	年間			
高機能材料	95	95	190	125	80	205	+30	▲ 15	+15
エラストマー素材	40	35	75	60	20	80	+20	▲ 15	+5
その他の事業、消去等	5	10	15	5	15	20	0	+5	+5
営業利益合計	140	140	280	190	115	305	+50	▲ 25	+25

- ・当初予想前提：US\$=140円、€=160円、国産ナフサ/KL=¥63,000、アジアブタジエン/MT=US\$1,100
- ・修正予想前提：US\$=145円、€=170円、国産ナフサ/KL=¥63,000、アジアブタジエン/MT=US\$1,100
- ・米国の関税措置の影響は、為替、主原料価格の諸元変化、直近の販売動向見込を織り込み
- ・営業利益への為替影響（年間）は、1円/US\$：約3億円、1円/€：約2億円、円安により増加

P.2	総括	
P.4	トピックス	
P.7	事業環境（為替・主原料推移）	
P.8	業績サマリー	
P.11	高機能材料	P/L
P.12	高機能材料	セグメント別概況
P.13	高機能樹脂事業	: COPの状況
P.14	高機能樹脂事業	: 光学フィルムの状況
P.15	高機能バインダー材料事業	: 電池材料の状況
P.16	高機能ケミカル事業	: 化学品・電子材料の状況
P.18	エラストマー素材	P/L
P.19	エラストマー素材	セグメント別概況
P.20	エラストマー素材	: 合成ゴムの状況
P.22	B/S概要	
P.23	C/F概要	
P.25	2025年度	業績予想修正のポイントと来期への影響
P.26	2025年度	事業環境動向
P.28	2025年度	業績予想
P.30	2025年度	株主還元予想

株主還元方針

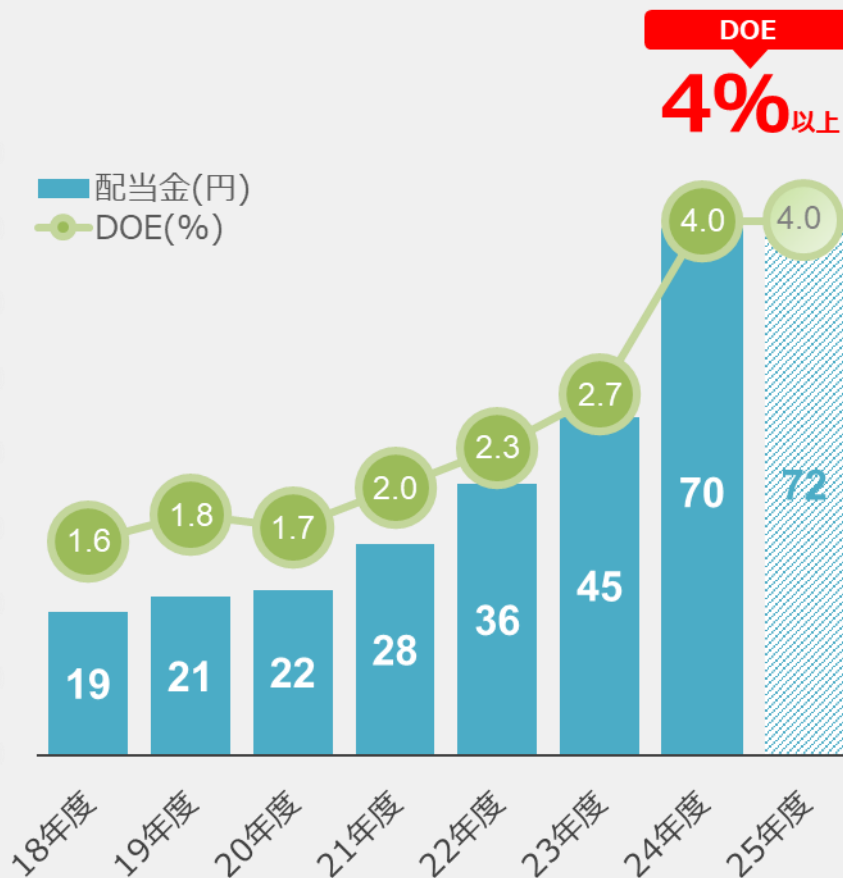
- 1 配当のKPIとしてDOEを採用し、
DOE4%以上とする

- 2 自己株式取得（計画）

24年度－26年度

400億円

- 2024年度 200億円（完了）
- 2025年度 100億円（実施中）
- 2026年度 100億円（見込）



- 配当金は年間72円予想を据え置く（YoY+2円）
- 年間配当額は2010年度から16期連続増配予想
- 1,000万株/100億円を上限に、自己株式の取得を実施中

本資料に掲載されている当社の計画や見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる結果になる場合があります。

**2025年度
Q2決算発表**

2025年10月30日を予定

※上記の予定は、都合により予告なく変更する場合がございます

以 上

**統合報告書
2024年度版
[こちら](#)**

(単位：億円)

2023年度 2024年度 2025年度

Q1

売上高	3,823	4,206	1,031
高機能材料事業	1,074	1,216	293
高機能樹脂	642	793	197
高機能バインダー材料	234	225	53
高機能ケミカル	156	158	33
メディカル他	43	39	10
エラストマー素材事業	2,153	2,366	581
合成ゴム	1,642	1,769	445
ラテックス	109	142	35
化成品	350	403	90
その他・消去	52	52	12
その他の事業、消去等	596	625	157

2023年度 2024年度 2025年度

Q1

営業利益	205	293	121
高機能材料事業	132	176	74
高機能樹脂	73	139	55
高機能バインダー材料	44	22	10
高機能ケミカル	21	19	8
メディカル他	▲ 5	▲ 4	1
エラストマー素材事業	66	109	42
その他の事業、消去等	6	8	5

参考：高機能材料事業：要因別 営業利益差異（QoQ） ZEON

（単位：億円）

+：製造固定費単価良化
棚卸資産関連費用減（24/Q4 費用発生増）

+：光学用途・医療その他向けCOP
/電池材料/光学フィルム 出荷量増

+25

▲0

▲2

+18

+4

▲：円高による販売価格の
外貨換算額減

+：新規開発費用減
（24/Q4 費用発生増）

24/Q4
31億円

+43

25/Q1
74億円

数量差

価格差

為替差

原価差

販管費差

参考：高機能材料事業：要因別 営業利益差異（YoY） ZEON

（単位：億円）

+：電池材料/医療その他向けCOP/大型フィルム
出荷量増

▲：電池材料 品目構成差

▲：円高による販売価格の
外貨換算額減

+：コストダウン
▲：人件費等上昇

+0

+26

▲12

▲3

+11

+：製造固定費単価良化
▲：光学フィルム 棚卸資産関連費用
(24/Q1 能登半島地震後の戻入発生)

24/Q1
53億円

+21

25/Q1
74億円

数量差

価格差

為替差

原価差

販管費差

（単位：億円）

＋：合成ゴム 出荷量増

化成品 タイ品は出荷量増/日本品は水島定検で出荷調整

▲：原料価格に応じた販売価格下落

+27

▲12

+7

▲10

+10

＋：本社費配賦減
(24/Q4 費用発生増)

＋：原料価格下落

▲：円高による販売価格の外貨換算額減

24/Q4
20億円

+23

25/Q1
42億円

数量差

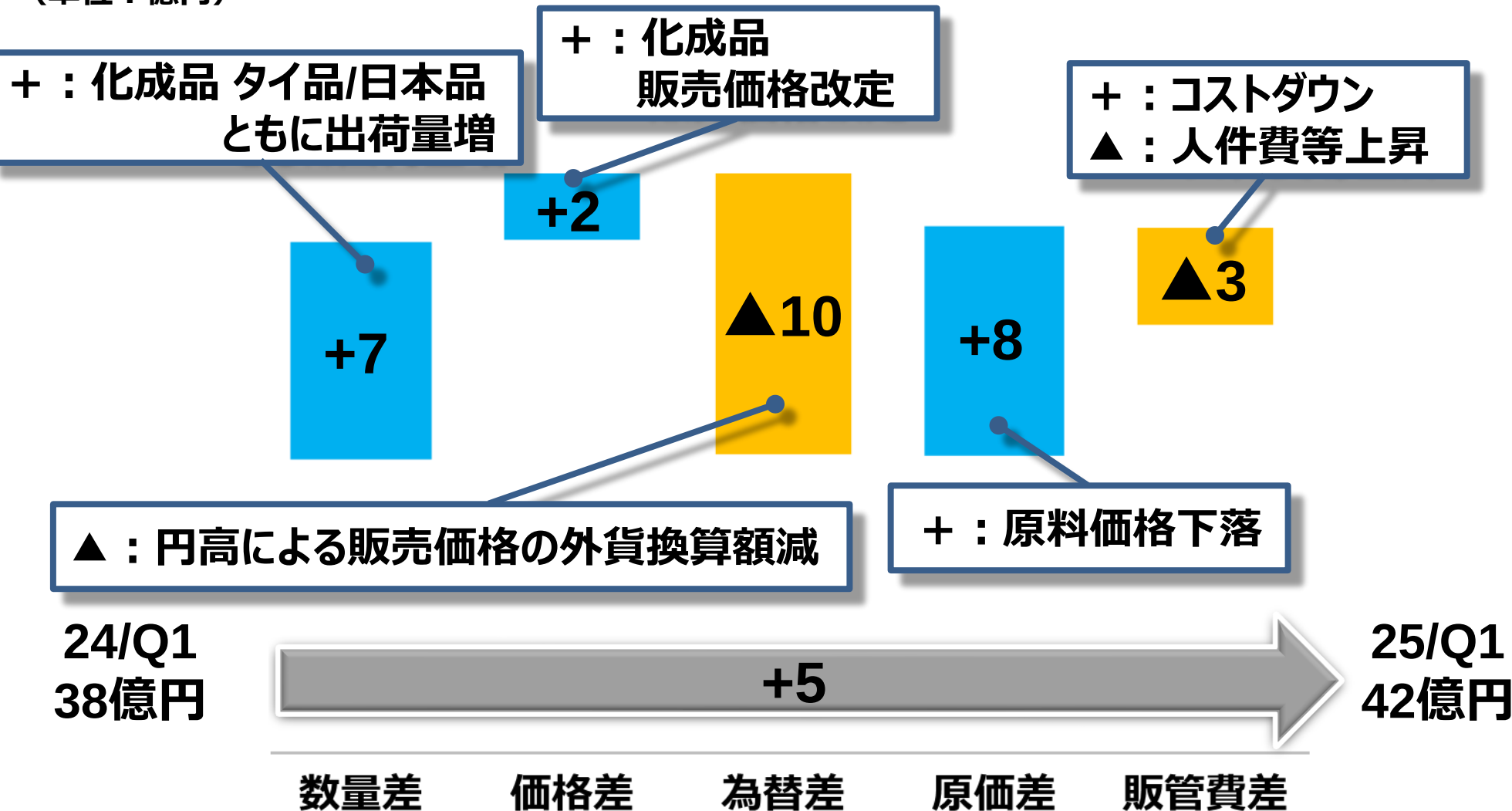
価格差

為替差

原価差

販管費差

（単位：億円）



(単位：億円)

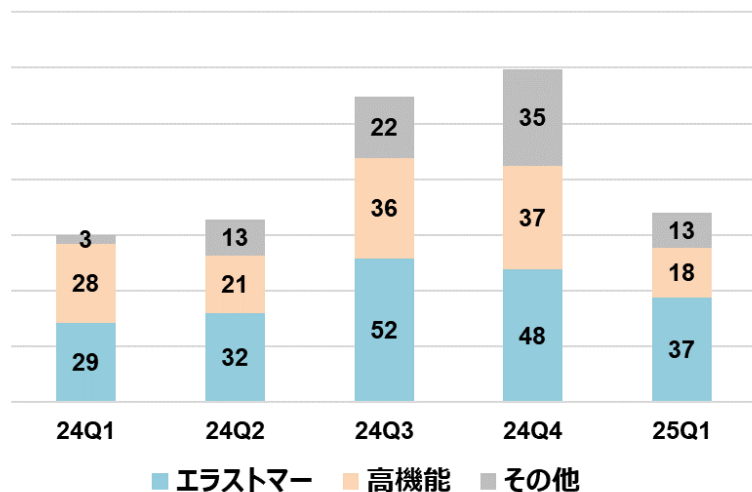
【営業外損益】	2024年度 Q1	2025年度 Q1	YoY 増減
受取利息・配当金	12	11	▲ 1
支払利息	▲ 0	▲ 0	-
休止資産固定費	▲ 1	▲ 1	-
貸倒引当金繰入額	▲ 2	▲ 1	+1
為替差損益	21	▲ 9	▲ 30
その他	2	▲ 1	▲ 3
営業外損益合計	32	▲ 2	▲ 33

【特別損益】	2024年度 Q1	2025年度 Q1	YoY 増減
減損損失	▲ 5	▲ 8	▲ 3
固定資産処分損	▲ 0	▲ 1	-
投資有価証券売却損益	2	0	▲ 1
投資有価証券評価損	▲ 7	0	+7
その他	▲ 1	0	+1
特別損益合計	▲ 12	▲ 8	+4

参考：資本的支出、減価償却費の推移

(単位：億円)

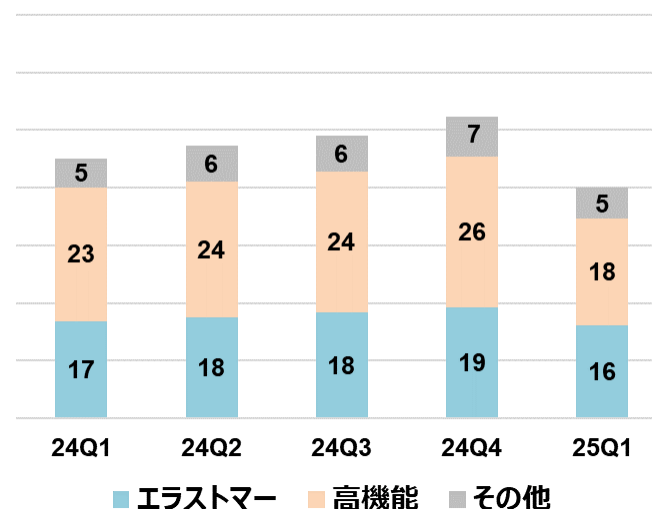
【資本的支出】



24年度実績
355億円

25年度予想
690億円

【減価償却費】



24年度実績
194億円

25年度予想
161億円

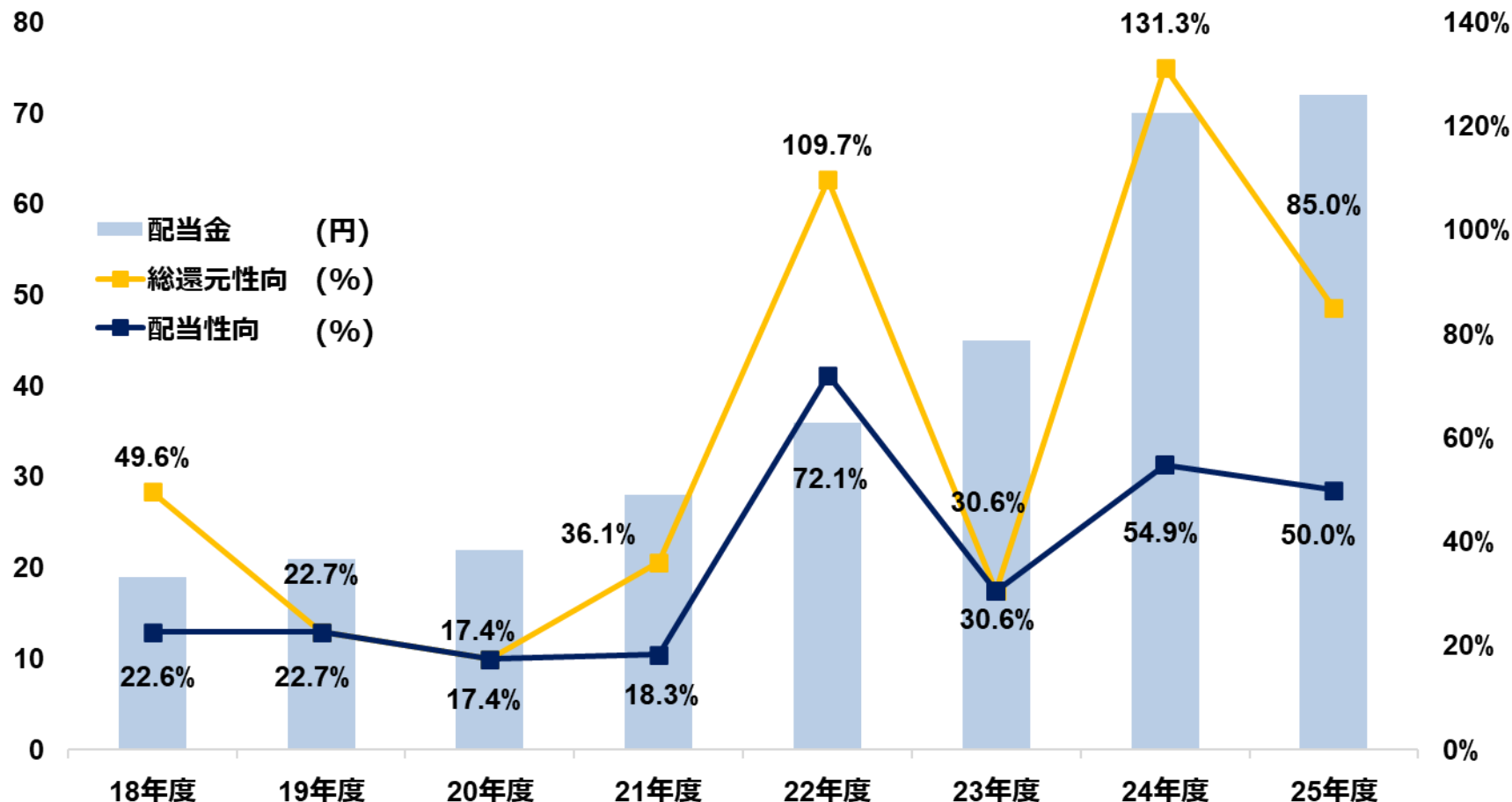
【研究開発費】

24年度実績
182億円

25年度予想
175億円

(単位：円)

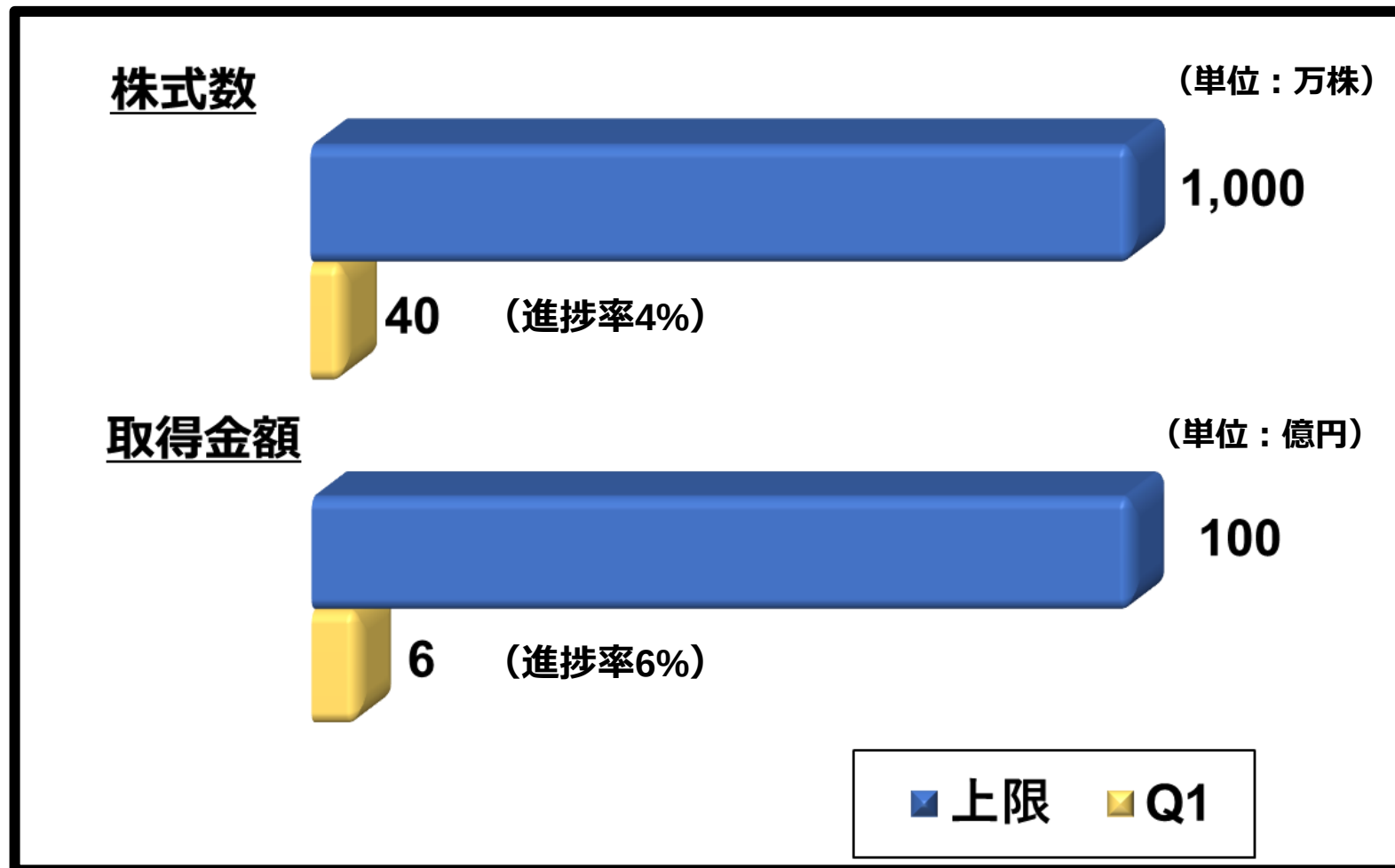
(単位：%)



■ 配当利回りは4.48%（2025年7月25日終値ベース）

- 1,000万株/100億円を上限に自己株式の取得を実施しています。
- 取得後の全株式について消却を決定済です。

【2025年6月30日時点取得状況】



アップサイド

エンドマーケット需要回復の早期化

為替の円安化

市況回復の早期化

円安ドル高

景気回復

円安ユーロ高

ダウンサイド

エンドマーケット需要低迷の長期化

為替の円高化

市況回復の長期化

円高ドル安

景気悪化

円高ユーロ安